

大学院 教育学研究科 学校教育専攻 主催  
2014年度 修士論文 第二次中間報告会  
学校教育専攻 第七期 2年

日時：2014年9月24日（水） 13：00～

場所：12103 教室 発表時間：発表 20 分 質疑応答 10 分

13:00～13:05

研究科長挨拶 嶋野 道弘

- 1 13:05 石川 貴裕 段落相互の関係の把握が文章理解に及ぼす効果  
主指導教員 池田 進一 副指導教員 山下 直
- 2 13:35 篠田 亜美 子どもが生き生きとする生活科の教育理念・原理と授業の構想  
主指導教員 嶋野 道弘 副指導教員 手嶋 將博
- 3 14:05 土橋 祐子 公立小学校における総合的な学習の時間の普及の要因の考察  
—大正期以降の新教育と対比しながら—  
主指導教員 葉養 正明 副指導教員 嶋野 道弘
- 4 14:35 藤乗 輝幸 戦後小学校国語教科書における伝記教材の検討  
—田中正造の伝記教材を中心に—  
主指導教員 太郎良 信 副指導教員 大嶋 丈志

15：05～15：10

専攻長挨拶 吉田 正生



## 感想

中間報告会を実施するにあたり、多くの方々の温かいご指導とご協力を頂きましたことに心より感謝申し上げます。

はじめに研究科長の嶋野先生から、修士論文提出まで残り少ない期間ではあるが、この報告会での意見を参考に、より研究に取り組んでほしいというお話をいただきました。

今回は2度目の中間報告会でしたが、反省点の多いものになりました。報告会に参加してくださった皆様が、私たち院生の研究内容をすべて把握しているわけではありません。その中で、いかに聞いてくださる方々にわかりやすく、自分たちの研究の成果を発表するか、内容面でもプレゼンテーションの面でも学ぶことが多くあり、足を運んでいただいた本学の先生方から多数のご意見を頂戴しました。また、専攻長の吉田先生から、自分が何を目的として研究を行っているのかを明確にして研究を進めるべきである、というお話をいただき、研究を見つめ直す機会となりました。

この報告会で得たことを自分自身の研究に繋げられるよう一層精進いたします。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

文教大学大学院教育学研究科  
7期生一同